

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア マ ナ  
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 進 藤 博 信  
( コード番号 2402 東証マザーズ )  
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 部 門 担 当 田 中 和 人  
T E L : 0 3 - 3 7 4 0 - 4 0 1 1

## 平成26年12月期通期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成26年2月17日に公表いたしました、平成26年12月期通期連結業績予想と実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成26年12月期通期連結業績予想と実績との差異(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

|                          | 売上高<br>(百万円) | 営業利益<br>(百万円) | 経常利益<br>(百万円) | 当期純利益<br>(百万円) | 1株当たり<br>当期純利益(円) |
|--------------------------|--------------|---------------|---------------|----------------|-------------------|
| 前回発表予想(A)                | 20,700       | 400           | 250           | 100            | 20.11             |
| 実績値(B)                   | 20,966       | 34            | △55           | 7              | 1.58              |
| 増減額(B-A)                 | 266          | △365          | △305          | △92            |                   |
| 増減率(%)                   | 1.3%         | △91.3%        | -             | △92.1%         |                   |
| (ご参考)前期実績<br>(平成25年12月期) | 18,700       | 239           | 125           | 38             | 7.81              |

#### 2. 差異の理由

通期の連結業績につきましては、売上高は概ね計画通りとなりました。利益面につきましては、ビジュアル・コミュニケーション事業においてコア事業となるビジュアル制作及びコンテンツ企画制作は概ね計画通りに推移したものの、ストックフォト販売の販売単価の低下による売上高の減少やコンテンツ化ビジネスの推進に伴う原価率の上昇、コンシューママーケットに向けた情報発信型ビジネスの先行投資が増加したことにより、営業利益、経常利益を押し下げました。さらに、関係会社株式売却益により税金等調整前当期純利益を計上しましたが、繰延税金資産の取り崩しを含む法人税等及び少数株主利益の計上により当期純利益を押し下げる結果となりました。

以上